

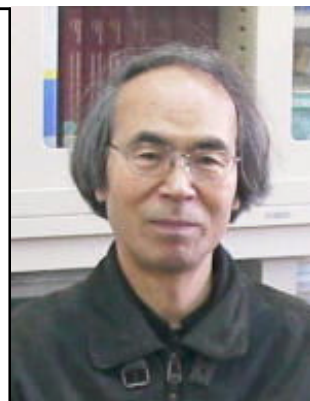
原爆症認定集団訴訟で内部被曝について証言された矢ヶ崎先生を迎えて

福島原発事故でいま何が 矢ヶ崎先生が現地からの報告

●4月2日(土)
18:00~20:30
●平和ビル5F

広島市中区福祉センター
広島市役所本庁前

1943年東京で生まれ、長野県松本で育つ。1982年広島大学大学院理学研究科で理学博士学位取得。琉球大学理学部教授、同理学部部長を歴任し、2009年定年退職。琉球大学名誉教授。2003年から原爆症集団訴訟で「内部被曝」について証言。著書に「隠された被曝」、「核の科学と平和」など。



矢ヶ崎克馬氏

3月11日2時46分、東日本大地震が発生しました。地震と合わせて巨大津波はその惨状に震撼しました。いま死者行方不明は2万人を超えようとしています。そして追い打ちをかけたのが東京電力の福島第一原発の惨状です。冷却機能が失われ、炉心溶解など新たな不安に襲われています。チェルノブイリ原発やスリーマイル島原発事故をも超えると想定される中で、政府や東電の対応に不信感がぬぐえません。そして遂に作業員も被曝、半径30kmの住民の今後はどうなるのか。放射能拡散はどこまで広がるのか。



白煙をあげ、無惨な姿をさらけ出した福島第一原発3号機 3月21日

内部被曝の第1人者、矢ヶ崎克馬・琉球大学名誉教授は3月24日、現地の福島に入られました。その帰路、広島で現地からの生々しい報告をしていただきます。ヒロシマを体験した市民として原子力の問題と合わせて原発事故について一緒に考えましょう。

主催：原水爆禁止広島県協議会
広島県原爆被害者団体協議会
原爆症の認定を求める集団訴訟を支援する広島県会議
日本ジャーナリスト会議広島支部
憲法と平和を守る広島共同センター

連絡先：被団協082-296-0040